

科目名	古楽合奏1～3	授業期間	通年
担当教員	渡邊順生、鈴木秀美	科目 No.	履修上の注意参照
受講対象	作曲「映画・放送音楽コース」「ポピュラー・インストゥルメンツコース」「ソング・ライティングコース」を除く全専攻 2～4年	単位数	2単位

目 標 概 要	<p>バロック・古典派・初期ロマン派の室内楽作品を対象として、種々の演奏方法を学ぶ。</p> <p>初回の授業において、受講する学生との打ち合わせを行い、選曲・グループ分け・演奏日程などを決定する。古楽演奏上で問題となる諸点を学ぶ。楽譜の選定、作品及び時代様式の研究における留意点、また、いわゆるパフォーマンス・プラクティス（演奏習慣）——実際の演奏における様々な手法、特に、アーティキュレーション、装飾法、リズム [記譜と実際の演奏の違い]、和声法、音程および音律の問題、舞曲の性格とリズム・パターン、テンポの変化とテンポ・ルバート、レチタティーヴォやファンタジーなど自由な書法の音楽の演奏法等々——などを取り扱う。編成の小さなものは、二つのグループに分けて二人の担当教員がそれぞれのグループを指導し、編成の大きなものについては合同で行う。以下に、前年度の授業の進行の実例を示す。</p>
------------	---

授 業 計 画	春 学 期	
	1	打ち合わせ（曲目・グループ分け・スケジュール）
	2	コレリ《トリオ・ソナタ Op.24》2xVn, Vc, Cem 前半
	3	同上 後半
	4	第1グループ：ゼレンカ《トリオ第一番》2xOb, Vc, Cem 第2グループ：ベートーヴェン《フォルテピアノ連弾のためのソナタ》2xPf 前半
	5	同上 後半
	6	第1グループ：テレマン《ターフェルムジーク第1集・四重奏曲》Fl, Ob, Vn, Vc, Cem 第2グループ：モーツァルト《四手連弾のためのアンダンテと変奏 K.501》2xPf 前半
	7	同上 後半
	8	バッハ《ブランデンブルク協奏曲第5番》Fl, 2xVn, Va, Vc, Cb, Cem 第1楽章
	9	同上 第2楽章
	10	同上 第3楽章
	11	第1グループ：ポッケリニ《ギター五重奏曲》G, 2xVn, Va, Vc 第2グループ：ベートーヴェン《チェロ・ソナタ第2番 Op.5-2》Vc, Pf 前半
	12	同上 後半
	13	テレマン《ターフェルムジーク第3集・管弦楽組曲》2xOb, 2xVn, Va, Vc, Cb, Cem 第1楽章
	14	同上 第2楽章
	15	同上 第3楽章
	秋 学 期	
	1	打ち合わせ
	2	第1グループ：モーツァルト《フルート四重奏曲》Fl, Vn, Va, Vc 第1楽章 第2グループ：モーツァルト《四手連弾のためのソナタ K.497》2xPf 第1楽章
	3	同上 第2楽章 同上 第2楽章
	4	同上 第3楽章 同上 第3楽章
	5	第1グループ：ヘンデル《トリオ・ソナタ》Fl, Vn, Vc, Cem 第2グループ：シューベルト《アルペジヨネ・ソナタ》Vc, Pf 前半
	6	同上 後半
	7	バッハ《管弦楽組曲第2番》Fl, 2xVn, Va, Vc, Cb, Cem 第1楽章
	8	同上 第2～第4楽章
	9	同上 第5～第7楽章
	10	第1グループ：ギター二重奏 第2グループ：モーツァルト《四手連弾のためのソナタ K.521》2xPf 前半
	11	同上 後半
	12	第1グループ：オテール《トリオ・ソナタ》2xFl, Cem 第2グループ：ベートーヴェン《チェロ・ソナタ第1番 Op.5-1》Vc, Pf 前半
	13	同上 後半
14	バッハ《2台のチェンバロのための協奏曲第1番》2xVn, Va, Vc, Cb, 2xCem 第1楽章	
15	同上（まとめ） 第2・第3楽章	

準備学習の内容	自分の担当するパートについては必ず事前に楽譜をよく読んで練習しておくこと。また、小編成の楽曲については、最初の授業前にしっかり合わせをおこなって準備しておくこと。
---------	---

履修上の注意	科目 No. MKY2X94, GEN2X94, MKY3X95, GEN3X95, MKY4X96, GEN4X96
--------	---

評価方法	試験	課題（レポート含）	発表	平常点	その他	合計
	補足	演奏と出席による評価				

教材等	授業内で指示する。
-----	-----------

1 専攻科目・専門基礎科目・専門共通科目